

御食事処 すきふね 「優良施設賞」受賞



平成26年10月17日に埼玉県県民健康センターにおいて、埼玉県と一般社団法人埼玉県食品衛生協会主催の第63回埼玉県食品衛生大会が開催され、東秩父村和紙の里内の御食事処すきふねが「優良施設賞」を受賞しました。この賞は県民の日常生活に深い関心のある食品衛生の推進のために、率先して献身的に努力し、その成果が顕著である者または施設の功績を顕彰するものです。賞状と楯は後日、足立村長より従業員へ手渡され、「今後も更なる公衆衛生の向上を図って、訪れるすべての方に満足していただけるよう努めてください」とお願いしました。

和紙の里で楮かしき

東秩父村和紙の里では、正月恒例の「楮（かす）かしき」を1月6日から9日までの4日間行いました。

楮かしきとは、和紙の原料となる楮の皮をむく作業で、和紙の里では毎年新年最初の作業として行っています。作業は、楮を約1メートルに切りそろえ束にして大釜で蒸し、蒸しあがった枝の皮をむくというものです。職員やお手伝いの方の手によって手際よく進んでいきました。

昨年11月のユネスコ無形文化遺産登録決定を受け、和紙の里を訪れる方も大幅に増えました。今回むいた楮を使った和紙が多くの方の手に渡り、細川紙の魅力がより一層伝わることを願っています。



人形の大冒険にハラハラドキドキ —城山保育園・観劇—



城山保育園では、1月16日（金）、全国で巡回公演を行っている劇団「すぎのこ」に、人形劇を披露していただきました。園では、子どもたちに本物の劇場で劇を見せてあげたい思いから、今年で4回目になる観劇を園内で行っています。

歴史ある劇団「すぎのこ」が今回披露してくれたのは、「たのきゅうのうわばみたいじ」と「だいこんにんじんごぼう」です。うわばみが大きな口を開けてしゃべる姿に思わず息をのむ園児たちでしたが、楽しい演目をにこやかに笑いながら観ていました。また、たくさんの人形が登場すると、一つひとつの表情に目を凝らしていました。

来年はどんな劇が観られるのか、今から楽しみにしている子どもも多いことでしょう。

細川紙 ユネスコ無形文化遺産登録決定 記念事業開催！！

昨年、11月、パリで開催されたユネスコ無形文化遺産保護条約の第9回政府間委員会において、石州半紙、本美濃紙、細川紙を「和紙：日本の手漉和紙技術」として、ユネスコ無形文化遺産保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表（代表一覧）」に記載することが決議されました。

これを記念して、ユネスコ登録記念事業を開催します。ぜひご来場ください。

期 日 2月11日（水・祝）午後1時30分 場 所 リリックおがわ（小川町民会館）
主 催 東秩父村、小川町、東秩父村教育委員会、小川町教育委員会 入 場 無料
内 容 記念講演 講師：近藤都代子氏 文化庁伝統文化課主任文化財調査官
平成25年度工芸技術映画「細川紙」の上映 細川紙を使った紙衣のファッションショー
和紙を利用した展覧会「和紙の世界展」

問合せ 東秩父村産業建設課 ☎82-1223

